

エバックハーネス

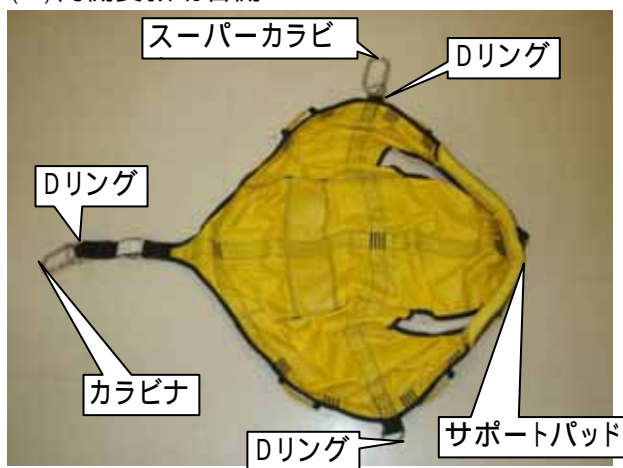
1. 使用目的

要救助者が衰弱し、意識状態が悪い場合等に、イスに腰をかけたような状態で吊り上げ救助するもの。子供や中等症の要救助者の救出に使用する。最大可能人員 1人。

2. 外観・諸元

本体	ナイロン素材 (1000 デニールコーデュラ) 黄色
耐荷ベルト	幅45 45mm mm MIL SPEC (MIL-W-4088 Class 1A Type 7) 最低強度 2,700kg
D リング	ステンレススチール最低強度3,600 kg
全体強度	270kg(最大)
収納時	35 X 27 X 13 cm (収納袋付)

(1) 内側要救助者側



(2) 外側



3. 特徴

- (1) 首周りに浮力性のサポートパッドが着いており、水上での救助活動がスムーズにできる。
- (2) 腰部の素材がメッシュになっており、引き揚げ時に水抜きが容易にできる。
- (3) 5ヶ所の取っ手が着いており、介助しやすい。
- (4) ホールド性があるので要救助者の不安感を軽減できる。
- (5) 装着が簡単で素早くできる。
- (6) 首からお尻を包み吊り上げるので要救助者の姿勢が楽である。

4. 使用方法

- (1) エバックハーネスを広げ、要救助者にベストを着せるように腕を通す。
- (2) 左右のDリングをスーパーカラビナでつなぎ(写真1)、股の間から中央吊下ベルトを引き出し先端のカラビナをスーパーカラビナにかける。(写真2)
- (3) 要救助者が完全に水面から上がった状態で、吊り下げられた姿勢を確認する。

(写真1)



(写真2)



5. 使用上の注意及びポイント

- (1) 尻部が胴体の最低の位置となり、胸が腰より高くなるようにする。
- (2) 吊り下げ姿勢に異常があるまま引き揚げると、要救助者がエバックハーネスの中で不安定になり、要救助者が抜け落ちる恐れがあるので注意する。

【良い例】



5. 使用後のメンテナンス

(1) 外観の確認

ア、ベルト、ハンドル、生地 of 磨耗、切り傷、サケ傷。

イ、縫製部のホツレ、糸切れ。

ウ、繊維材料 of 著しい退色。

エ、Dリング、カラビナ、サイズ調整環 of 亀裂、変形、作動不良。

(2) 汚れが付着した場合は、中性洗剤で汚れをふき取り、清水を浸した布で洗剤を取り去り、風通しの良い日陰で十分に乾燥させる。

(3) 海水中で使用した場合は、清水にて十分に塩抜きし、風通しの良い日陰で十分に乾燥させる。